

第 29 回 福島問題研究会 議事録 (ダイジェスト版)

日時：平成 29 年 12 月 11 日 (月) 14:00~16:00

場所：化工会応接室

出席者：(敬称略) 小林、中尾、橋本、鈴木、郷、松井、横堀 (記録)

1. 前回議事録

前回議事録最終案 (資料 1) に対し特にコメントがなく確認された。

2. 1F 現地視察 (見学会) の調整状況

12 月 14 日予定の見学会について現況報告と確認を行った。

申込みは研究会会員 8 名と一般会員 6 名の計 14 名となったが、

その後、健康上の事由等で 2 名の辞退があり、現在 12 名が参加を予定している。

参加者の略歴 (資料 2) とスケジュール案 (資料 3) の説明があった。

3. 関連情報 (紹介 / 意見交換)

(1) (小林) 福島原発事故対策検討委員会の活動のまとめである化学工学会からの提言が、12/7 になって漸く化学工学会のホームページに掲載されたとの紹介があった (発行日付は 10/27)。化学工学会ホームページ (最新のお知らせ) に、「福島原発事故対策検討委員会では、福島原発事故対策についての提言を纏めました。詳細は[こちら](#)」として紹介されている。

(2) (鈴木) 沖縄で開催された、第 64 回材料と環境討論会 (2017 年 11 月 8 日) の、「今後の 1F の腐食対策はどうあるべきか?」をテーマとする、パネル討論会に鈴木氏がパネリストとして出席した旨報告があった。山本正弘氏が座長で、(1)実務経験のある専門家の立場から (2)大学の立場から (3)将来の俯瞰とニーズ・シーズのマッチングの視点から (4)腐食の専門家の立場からパネリストが参加。鈴木氏は腐食の専門家として討論に参加した。交流会での意見として山本委員会のメンバーと福島問題研究会と話し合いの場を持てば良いとの提案があり、1 月~3 月頃の実現に向け山本氏と調整することとなった。

(3) (中尾) 「ビッグデータを活用した故障予兆監視システムの開発」と題する林氏 (中国電力) の発表内容の紹介があった (資料 4)。

(4) 廃炉汚染水対策中央会議の前段階として「廃炉・汚染水対策チーム会合 / 事務局会議」月 1 回のペースで開かれており、1F の汚染水対策の現状について公式な発表は事務局会議のホームページをフォローするのが良いとの指摘があった。

4. その他：次回日程等

次回予定

日時：1 月 23 日 (水) 以降年度内に開催する方向で横堀と山本氏で内容を調整し、関係者や会議室の都合を勘案して日程を決める。

場所：化学工学会会議室他

5. 配布資料

1) 第 28 回福島問題研究会議事録

- 2) 福島問題研究会見学会の参加者リスト
- 3) 福島問題研究会見学会スケジュール
- 4) インケム 2017 発表資料 (2017. 11. 22) 中国電力 林司氏

以上